

リーディング・チュウ太の最新情報

甲南大学知能情報学部 北村達也[†]

本発表では、筆者の研究室にて開発された、もしくは開発中のツールについて解説する。筆者は、インターネットと形態素解析技術を組み合わせて日本語教育・学習に有用なツールを開発する、さらにそれらのツールを長期間運用し改善を続ける、というスタンスで研究を進めている。本発表では以下の5つのツールについて紹介する。

1. ふりがなチュウ太 (<http://basil.is.konan-u.ac.jp/chuta/>)
Internet Explorer では文字にふりがなをふることができる(他の web ブラウザではできない)。そこで、漢字にふりがなをふる機能を辞書ツールに追加した。
2. チュウ太バー (<http://basil.is.konan-u.ac.jp/chuta/chutabar.html>)
辞書ツールを利用するには一度リーディング・チュウ太の web ページにアクセスする必要がある。その手間を省くたびに、web ブラウザの右上にある検索バーに文章を入力するだけで辞書ツールを利用できる機能を実現した。
3. 単語レベルチェッカー (<http://basil.is.konan-u.ac.jp/chuta2/>)
単語出現頻度、単語親密度、逆文節頻度(inverse document frequency, IDF)を基準として単語レベルを評価するシステムを開発中である。
4. 編集の容易な辞書ツール
辞書ツールは、出力結果を編集するのが困難である。そこで、Excel を利用して辞書情報などを容易に編集でき、その結果を web ページに反映させることのできるシステムを開発中である。
5. 日本文学 珠玉の小品集 (<http://basil.is.konan-u.ac.jp/tutor/bunko/>)
上記システムを利用して、文学作品に辞書情報を付与した教材の web ページを公開している。この web ページには、朗読音声、読解問題、語彙リスト、文型リストなども含まれている。

今後は、上記の開発に加え、携帯端末での利用を視野に入れた開発が必要であると考えている。筆者の研究室ではこのようなシステムと一緒に開発する大学院生を募集している。コンピュータ・プログラムは訓練すれば誰でも書けるようになる。ぜひ参加してほしい。

謝辞：本研究の一部は、甲南大学総合研究所、平成 21 年度シーズ発掘試験(11-143)及び平成 21 年度科研費基盤研究(B)(21320095)により実施された。

[†] 〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1, t-kitamu@konan-u.ac.jp,
<http://basil.is.konan-u.ac.jp/>